

BESTOOL-KANON

カノントルクレンチ

取扱説明書

適用機種 N-FK型, FK型 プレート型トルクレンチ
N-FCK型, FCK型 ヘッド交換式プレート型トルクレンチ

お買い上げありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになった上で正しくご使用下さい。本器を安全に使用し、かつ安全な状態に保つための注意事項が述べられています。お読みになった後は見やすい場所に保管して下さい。

今後とも末永くカノン製品をご愛用頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。



株式会社 中村製作所

NAKAMURA MFG. CO., LTD.

本社：東京都品川区大井4-4-4 〒140-0014

TEL: 03 (3775) 1521(代) FAX03 (3775) 1732

大阪営業所：大阪市西区新町2-18-19 〒550-0013

TEL: 06 (6532) 4488(代) FAX06 (6538) 2656

工場：都留・相模原

URL <http://www.bestool-kanon.co.jp>

E-mail: tokyo@bestool-kanon.co.jp

⚠ 安全について

- 折損事故、または本器の損傷を避けるために、締付荷重は、指針がガードに触れる手前で中止して下さい。(図2)
- 本体ニギリ部にパイプ等をつないで使用しないで下さい。過荷重(オーバートルク)になり、正しい締付が出来ません。また折損事故を引き起こす可能性があります。(図3)

N-FK、FK型

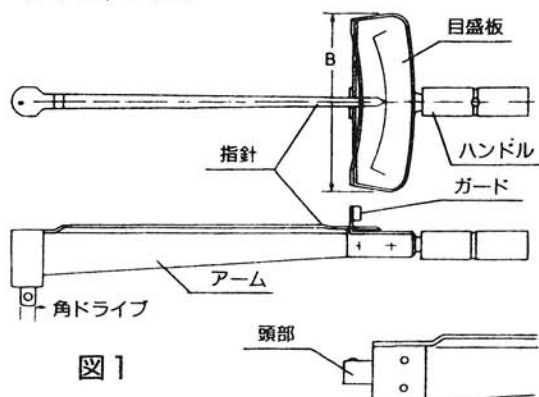


図1

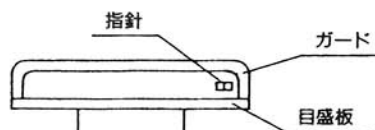


図2

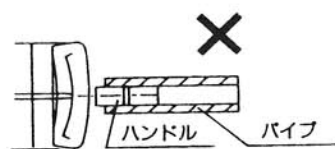


図3

N-FCK、FCK型

使用の前に

- ★開梱しましたら、輸送中において、破損がないかを点検して下さい。
- ★トルク値の検査、指針の「0」位置の確認をして下さい。(トルク値の検査には、トルクレンチの容量に合ったアナライザー(検査機)をご使用下さい。)
- ★トルクレンチは精密測定工具でもあります。投げたり、ハンマー代りに使用しないで下さい。機能が保てなくなります。
- ★N-LFK、LFK型用の使用済電池は、一般のゴミと区分して処分して下さい。

型式について

- ★N900FK~N15000FK、900FK~15000FKに置針付、ライト付はそれぞれN-FK、FK置針付型(図4)、N-LFK、LFK(図5)
- ★N-FCK、FCK型用交換ヘッドは、N-LCK、LCK型、N-SPCK、SPCK型用交換ヘッドと共通になっています。

N-FK、FK置針付型

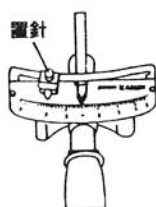


図4

N-LFK、LFK型(ライト付)

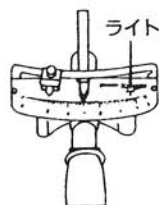


図5

使用 方 法

- ① 指針が目盛板の「0」位置を指示していることを確認して下さい。
- ② ソケットを角ドライブに差し込んで下さい。(図6)
※N-FCK、FCK型の場合は交換ヘッドを差し込んで下さい。

《注 意》

- ソケットは角ドライブに合ったものを使用して下さい。(N-FK、FK型・N-LFK、LFK型)
- ヘッドを本体に差し込む場合ヘッドの穴を本体ボール①に水平に差し込みます。
(N-FCK、FCK型) (図7)

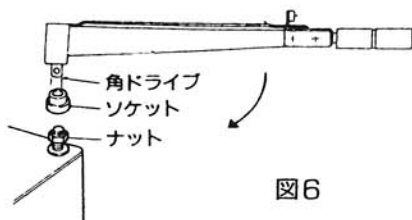


図6

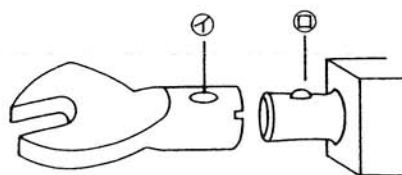


図7

- ③ ソケットをボルトの頭部またはナットに合わせて下さい。(図7)
- ④ トルクレンチをまわして締め付けて下さい。(図6)
※右ねじの締め付けは右まわし、ゆるめは左まわしして下さい。
- ⑤ アームに取り付けた目盛板が移動します。求めるトルク値の目盛線の上に、指針が重なったら締め付け完了です。

《注 意》

- 目盛の読取りは指針の真上から見て下さい。視差がないようにして下さい。(図8)



図8

◆N-FK、FK型置針付の場合、置針を指針の上に重ね合わせて下さい。指針と一緒に移動します。

◆N-LFK、LFK型ライト付の場合◆

- ① 置針のつまみネジを緩め、置針と指針を接触させ、ランプ点灯を確認して下さい。(図9)
- ② 求めるトルク値の目盛線の上に置針を止めて下さい。ランプが点灯するまで締め付けます。(図10,11)

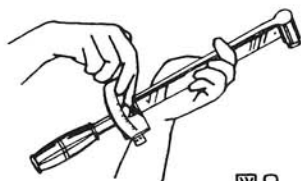


図9

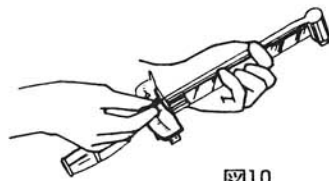


図10

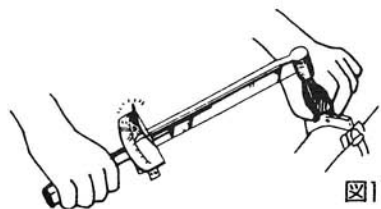


図11

《注 意》

- 力の掛ける位置でトルク値が変わります。ハンドルの中心に掛けて下さい。(図12)
- 力の掛ける方向はトルクレンチ、ボルト、ナットに対して直角に掛け、水平方向にまわして下さい。
(図13)

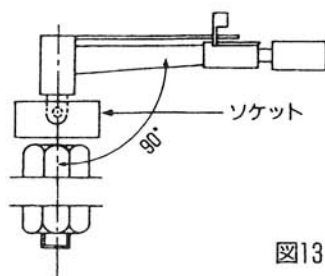


図13

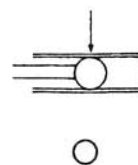
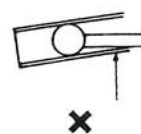
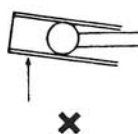
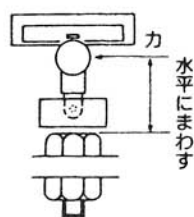


図12

点検方法

① 始業点検

○ トルク値、指針「0」位置などに異常のないこと（N-LFK型の電池電圧の確認）

② 定期点検

○ 3ヶ月毎に1回、または10万回締め付け毎に1回点検を行って下さい。

※過荷重（オーバートルク）を掛けた場合、または作業に異常を感じた場合はそのつど点検を行って下さい。

③ 点検箇所

○ トルク値、指針「0」点位置、指針先スキマ、ハンドルあそび、置針、ライト点灯の機能。

点検不良の場合

○ 始業点検、定期点検の結果、万一不良になった場合には、使用を中止し、当社営業員に連絡、又は当社代理店を通じて修理を行って下さい。

仕様



型 式		トルク測定 範囲 (左右)	最小目盛	全長	角ドライ ブ	主要寸法mm					重量	電池
						ヘッド部			本体部			
		N・m/cN・m	N・m/cN・m	mm	mm	H	G	R	A	B	K _g	
N4FK		10 ～ 40c N・m	2c N・m	110	6.35 (1/4")	26	7.5	5		54	0.05	
N7FK		10 ～ c N・m	2c N・m	132		26	7.5	5		75	0.05	
N15FK		50 ～ 150c N・m	5c N・m	140		30	7.5	5		75	0.08	
N30FK		1 ～ 3 N・m	0.1 N・m	170		32	7.5	5		75	0.1	
N60FK		1 ～ 6 N・m	0.2 N・m	190		36.5	7.5	6		85	0.22	
N120FK		2 ～ 12 N・m	0.5 N・m	237	9.53	43.5	7.5	6		85	0.25	
N230FK		3 ～ 23 N・m	0.5 N・m	290		42	11	9		106	0.3	
N450FK		5 ～ 45 N・m	1 N・m	320		42	11	9		106	0.34	
N900FK	N900L-FK	10 ～ 90 N・m	2 N・m	388	12.7 (1/2")	58	14	12.5		114	1.1	
N1300FK	N1300L-FK	20 ～ 130 N・m	2 N・m	441		58	14	13.5		114	1.2	
N1800FK	N1800L-FK	30 ～ 180 N・m	5 N・m	487		58	14	13.5		114	1.3	単三
N2800FK	N2800L-FK	50 ～ 280 N・m	5 N・m	587	19.05 (3/4")	82	20	15		124	2.6	1.5V
N4200FK	N4200L-FK	70 ～ 420 N・m	10 N・m	853		48	20	28		186	3.5	乾電池
N5600FK	N5600L-FK	100 ～ 560 N・m	10 N・m	946		48	20	31		186	4.4	池
N7000FK	N7000L-FK	100 ～ 700 N・m	10 N・m	1172	25.4 (1")	51	20	32		241	6.7	N-
N8500FK	N8500L-FK	150 ～ 850 N・m	20 N・m	1387		76.5	27	37		241	8.0	LFK
N10000FK	N10000L-FK	200 ～ 1000 N・m	20 N・m	1578		76.5	27	43		241	13.3	のみ
N15000FK	N15000L-FK	300 ～ 1500 N・m	20 N・m	1973		76.5	27	50		241	17.0	

型式	トルク測定 範囲 (左右)	最小目盛	全長	主要寸法mm			目盛板	重量	摘要交換 ヘッド
				φD1	L1	L2			
	Nm		mm				B	Kg	
N250FCK	5 ~ 25	1	308	10	45	13	106	0.3	230 Q.S.R.H
N500FCK	10 ~ 50	2	344	12	55	16	106	0.48	450 Q.S.R.H
N1000FCK	100 ~ 100	2	410	15	65	18	113	0.99	900 Q.S.R.H
N1500FCK	20 ~ 150	2	469	18	80	22	113	1.2	1800 Q.S.R.H
N2300FCK	30 ~ 230	5	527	22	100	27	113	1.3	2800 Q.S.R.H

型 式		トルク測定範囲	最小目盛	全長	角ドライブ	主要寸法mm					重量	
		(左右)				ヘッド部			本体部			
		kgf・cm	kgf・cm	mm	mm	電池	H	G	R	A	B	kg
4FK		1～4	0.2	6.35	110	池 単 (L 1 F ・ K 5 の V み 乾 電 池)	26	7.5	5		54	0.05
7FK		1～7	0.2		132		75				0.05	
15FK		5～15	0.5		140		75				0.08	
30FK		10～30	1		170		0.1					
60FK		10～60	2		190		0.22					
120FK		20～120	5	9.53	237		43.5	7.5	6		85	0.25
230FK		30～230	5		290		0.3					
450FK		50～450	10		320		0.34					
900FK	900LFK	100～900	20		388		12.5	114	1.1			
1300FK	1300LFK	200～1,300	20		441				1.2			
1800FK	1800LFK	300～1,800	50	487	1.3							
2800FK	2800LFK	500～2,800	50	19.05	587		82	20	15		124	2.6
4200FK	4200LFK	700～4,200	100		853		3.5					
5600FK	5600LFK	1,000～5,600	100		946		4.4					
7000FK	7000LFK	1,000～7,000	100		1,172		32	241	6.7			
8500FK	8500LFK	1,500～8,500	200		1,387				8.0			
10000FK	10000LFK	2,000～10,000	200	1,578	13							
15000FK	15000LFK	3,000～15,000	200	1,973		76.5	27	43	50			17.0

型式	トルク測定範囲 (左右)	最小目盛	全長	主要寸法mm			目盛板	重量	摘要交換 ヘッド
				φD1	L1	L2			
	kgf・cm/kgf・m		mm				B	Kg	
250FCK	50 ~ 250 kgf・cm	10	308	10	45	13	106	0.3	230 Q, S, R, H
500FCK	100 ~ 500 "	20	344	12	55	16	106	0.48	450 Q, S, R, H
1000FCK	100 ~ 1,000 "	20	410	15	65	18	113	0.99	900 Q, S, R, H
1500FCK	200 ~ 1,500 "	50	469	18	80	22	113	1.2	1800 Q, S, R, H
2300FCK	3 ~ 23 kgf・m	0.5	527	22	100	27	113	1.3	2800 Q, S, R, H

※kg・cm, kg・m単位は、海外向けのための販売となります。